

大将軍の子

後期学校評価アンケート結果のお知らせ

平成27年3月18日
京都市立大将軍小学校
校長 小森健至
Tel 461-4310
Fax 461-4342



まぶしい春の日差しが降り注ぐ季節となりました。保護者の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
いつも本校教育推進のためにご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

今年度後期学校評価アンケートの集計結果について、お知らせします。今回の保護者の方の回収率は、今年度前期を6.4%下回り、74.1%でした。

ご協力ありがとうございました。

◆実現度 A…よくできている B…大体できている C…あまりできていない D…できていない E…わからない
子…子ども 保…保護者 教…教職員



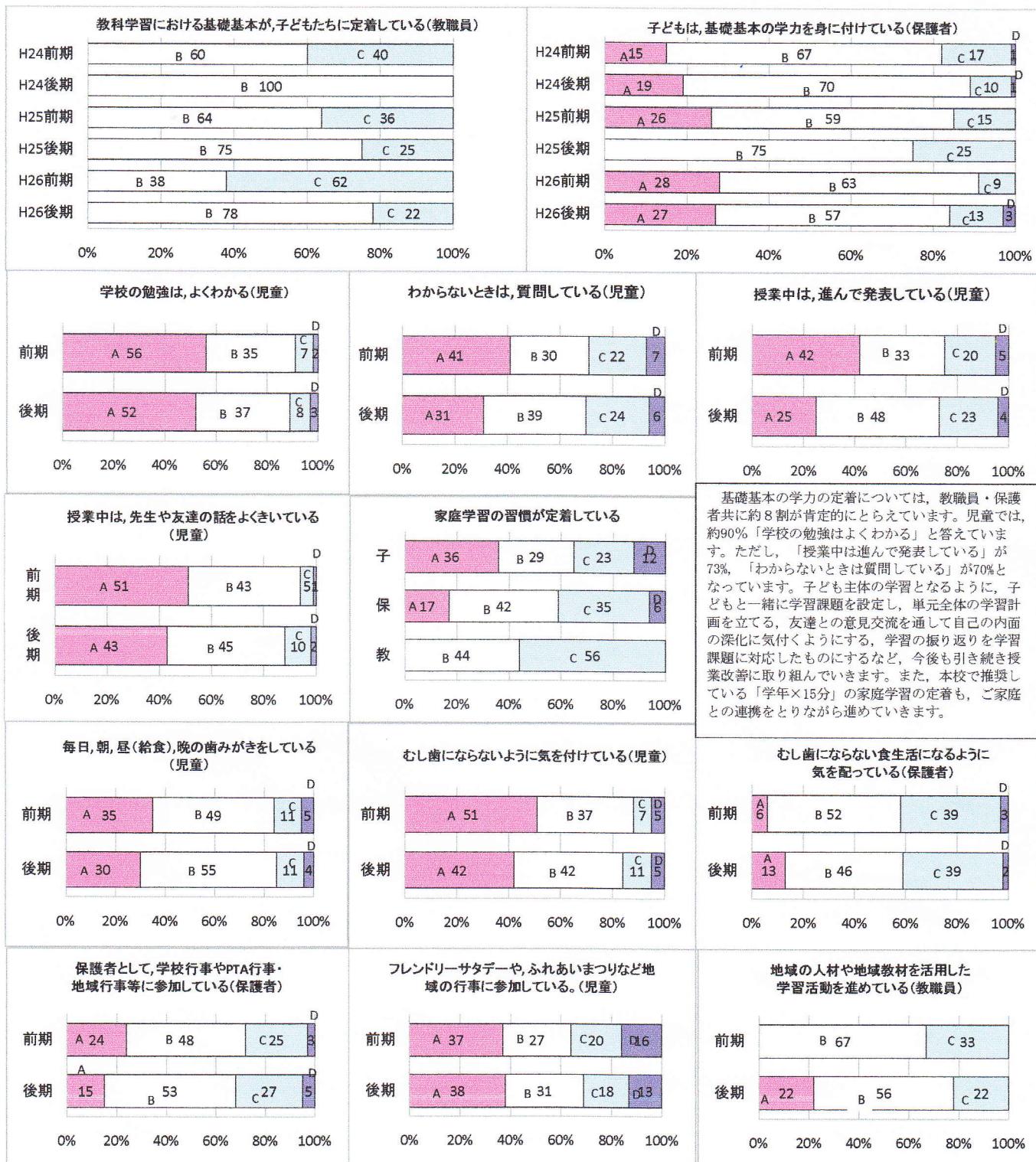
学校より

ここ数年重点を置いて取り組んでいる「自分から進んであいさつをする」については、後期後半より児童会が中心となって、「あいさつ運動」を実施することで、児童の意識付けを図っています。子どもたちの様子を見ていると、どの学年の子どもも、昨年度よりあいさつをするようになってきています。すぐには数字として結果に表れないかもしれません、これからも続けていきたいと考えています。

学力向上については、1月に実施されたジョイントプログラムの結果、4～6年生国語科「読むこと」領域の通過率が全市平均を10%近く上回っていました。学校運営協議会学力向上部会の読み聞かせボランティアの方々による読み聞かせをはじめとした読書活動の充実により、子どもたちが読書に親しむようになったことが、読解力向上の基盤となっています。今後もさらに充実したものとなるように取り組んでいきたいと考えています。

全体的な課題としては、子どもたちが、よりよい人間関係を築いていくための力を養うことが第一に考えられます。どの学年も単級であるがために、とかく人間関係が固定されがちです。従来より取り組んでいる縦割りのフレンドリーグループでの活動では、異年齢の集団の中でそれぞれの役割をしっかりと果たすことで、自己有用感や自己肯定感を育んでいます。今後もこの取組に重点を置いて、学校生活の様々な場面で、よりよい人間関係を築く力を育みたいと考えています。

地域の方々にも、ぜひ学校に足を運んでいただき、子どもたちに関わっていただけると幸いです。学校・地域・PTAで一つになって、大将軍の子どもたちを育てていきたいと考えていますので、これからもお力添えをいただきますように、どうぞよろしくお願い致します。



自由記述欄より

○お世話になってありがとうございます。楽しく学校生活を送らせて頂いています。これからもよろしくお願いします。
 ○いつもありがとうございます。あいさつや基礎学力など気なことはまだあります、お友達から刺激を受け、がんばっていると感じています。保護者どうし親しくさせていただける学年でもあるので、先生も含め、いろいろな事を共有できることを希望します。
 ○これらの時代、スマホに対する興味はあがっていくでしょう。依存になるこわさ、犯罪につながるこわさを知り、正しく使う「ケータイ」のお話は絶対に必要だと思いますので、「ケータイ」の専門の方を講師にお呼びして、「ケータイ」について、スマホをもちたい子ども、もたない子どもの両方に伝わる話を中学前にしていくことを続けていかれることを希望します。

学校運営協議会より

○去年と比べると、ずいぶんあいさつできる子が増えた。子どもの方からしてくれるようになった。1年生はもちろん、高学年の児童もあいさつする子が多くなった。
 ○見守り隊に対するあいさつを保護者の方が丁寧にしてくれる。
 ○登校時間(午前8時10分～8時25分)が決まっているのに、遅くなってしまっても急がずに歩いている子どもがいる。安全面もあるので、時間を意識して、家庭からきちんと子どもを送り出すようにしないといけない。
 ○家と学校での子どもの様子が公私逆転していることが気になる。(親に気を使う、本当のことを言わないなど。)学校で甘えが出る。家では、学校の都合の悪いことを言わない傾向がある。子どもが、学校でも家庭でも、自分の気持ちをありのままに出せるようになることを望む。
 ○スマートフォンは、リアルタイムで世界中につながっていて、興味本位ですると、とてもこわいものである。人とは会って、目を見て話をするものだ。ラインやネットではだめだ。